



作業療法の学び直し！

ナラティブベースドアプローチ

教育班

田染 佐夏

はじめに

エビデンス（科学的根拠）では
説明がつかない作業療法実践って
ありませんか？

科学が発展する以前から治療として行われていた
作業療法にとって、介入の根拠となる別の概念が
必要となります。



それが…

ナラティブベースドアプローチ

ナラティブとは

narrative : 「物語、文脈、対話」

英語を直訳すると物語という意味ですが、
内対話性（内的対話性）と他者との対話を総括した概念です。
ナラティブは以下の性質を持ちます。

- ・ 自己は物語られる
- ・ ナラティブは人生を統合する
- ・ ナラティブは社会的関係の中で語られる
- ・ ナラティブは時間とともに変化する
- ・ ナラティブは文化的なテキストである
- ・ ナラティブには優劣がある



ナラティブベースドメディスンとは

narrative based medicine (以下、NBM)

- 「対話に基づく医療」のこと
- 緩和ケアや精神看護で広く用いられる
- 対象者の環境・文化的背景・慣習が治療の方針に多大な影響を与える

NBMにおいて同じ疾患・症状でも介入内容は各々で異なります。質的評価に準じて効果判定し、純粋な結果の比較検討はできません。

病気や障害によって壊れてしまった物語を修復するための治療を展開することができます。



一方で…

エビデンスベースドメディスンとは

evidence based medicine (以下、EBM)



- 「科学的根拠に基づく医療」のこと
- 現代医療の基盤になっている
- 最大効果が期待される治療方法が方針に多大な影響を与える

EBMでは同じ疾患・症状に対する介入は同じです。量的評価で効果判定し、併存治療との比較検討ができます。

病気や障害によって壊れてしまった心身を修復するための治療を展開することができます。





なんで入院中に花見をする必要があるの？

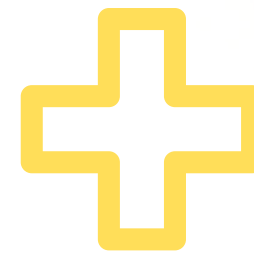


心身機能訓練に楽しさって必要なの？

NBMで介入構築する作業療法には
どちらも重要なリハビリテーション介入です

EBMでは説明がつきにくい実践

ナラティブの連続性を
保つための関わり



ナラティブスロープを
肯定的に方向づける関わり

NBMという治療概念があることで
作業療法介入が実践しやすくなる

ナラティブスロープとは

- 「人生の見通し」のこと
- 様々なイベントで浮き沈みする
- これまでの人生とこれからの人生の連続性

ナラティブスロープを肯定的に方向づけることが
NBMの介入において重要視されます。



NBMの言葉を借りると実践に説明がつく！



生活史に基づいた習慣の連続性を維持するため
実際に作業従事する



肯定的なナラティブスロープを形成するための
主観的体験を得る



楽しくて、ワクワクする作業療法を実践しませんか？



おわりに

様々な裏付けを用いて作業療法実践の糧にしましょう。

作業を用いた実践が感覚的に重要であることは多くの作業療法士が理解しています。
しかし、EBMが基盤となる医療の中で作業実践をするには根拠が必要になります。
ぜひ、EBM以外の領域から知識や視点を学んで作業療法に活かしてみましょう！

印西総合病院 作業療法士 田染 佐夏



読んでいただきありがとうございました